

暖差リスク予防委員会、「ヒートショック」意識調査

【調査概要】

調査方法：インターネットアンケート

調査実施機関：楽天リサーチ株式会社

調査実施期間：2014年10月17日（金）～10月19日（日）

対象地域：全国

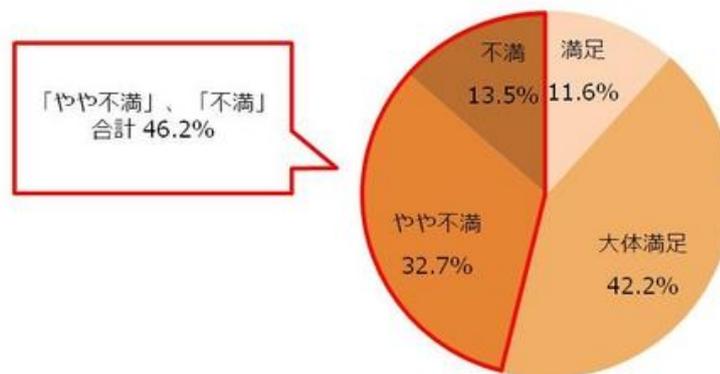
対象者：20代～70代の男女2500名

【調査結果】

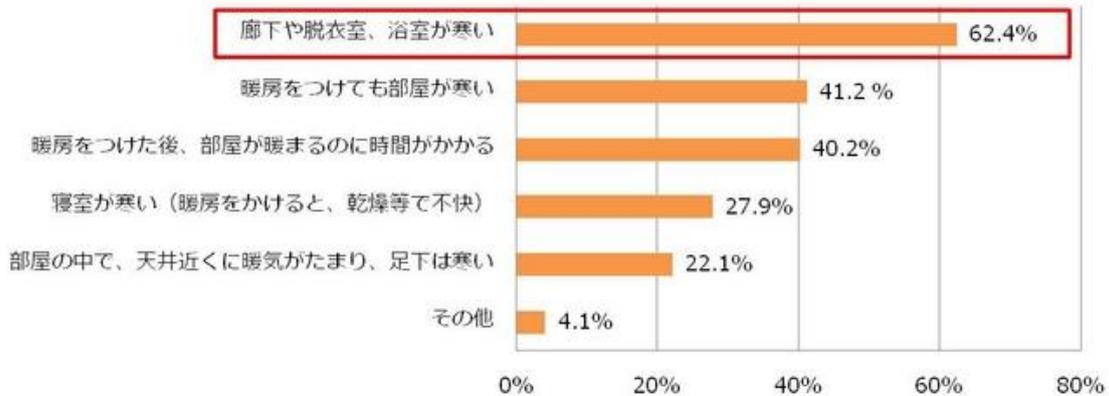
①約半数が冬の住宅の暖かさに不満を持っている。不満な点第1位は「廊下や脱衣室、浴室が寒い」こと

冬の家の暖かさについて満足しているか調査したところ、全体の半数近い46.2%の人が「やや不満」か「不満」と回答。不満な点の第1位は「廊下や脱衣室、浴室が寒い」が62.4%で、2位の「暖房をつけても部屋が寒い」（41.2%）、3位の「暖房をつけた後、部屋が暖まるのに時間がかかる」（40.2%）から20ポイント以上の差をつけており、住宅への不満の大きな要因になっていることがわかりました。

お住まいの家の冬の暖かさについて、満足していますか。（SA、N=2500）



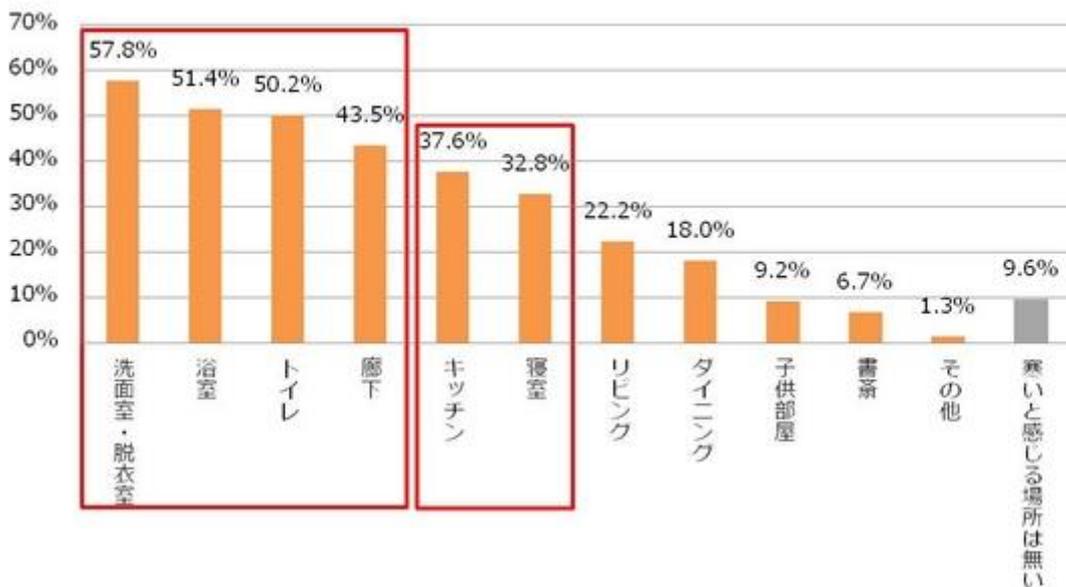
どのような点で不満を感じていますか。(MA、N=1155)



②寒い場所第1位「洗面室・脱衣室」、第2位「浴室」。「キッチン」、「寝室」が寒いという回答も3割以上

住宅内で寒いと感じる場所は第1位は「洗面室・脱衣室」で57.8%、次いで「浴室」51.4%、「トイレ」50.2%、「廊下」43.5%と、普段過ごす時間が短い場所が続きますが、「キッチン」37.6%、「寝室」32.8%など、ある程度長い時間を過ごす場所でも、3割以上の人が「寒いと感じる」と回答しました。

お住まいの家の、各部屋について、寒いと感じる場所を選んでください。(MA、N=2500)

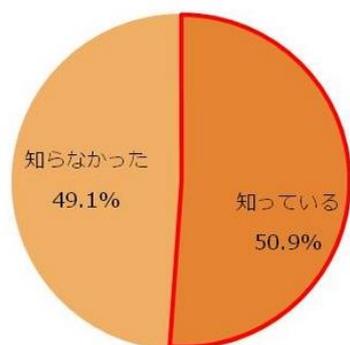


③冬に危険な「ヒートショック」、意識していない人が6割近く

「ヒートショック」という言葉を知っている人は全体の50.9%と半数を超えましたが、普段からヒートショックについて意識することがあると回答した人は41.2%にとどまり、

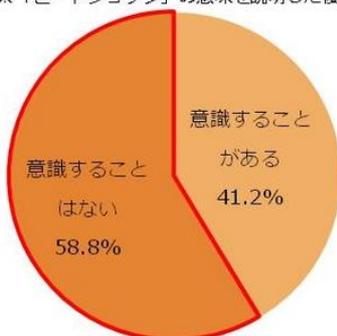
およそ 6 割の人がヒートショックを意識していないことがわかりました。ヒートショックの印象については、「高齢者にとっては危険だと思う」が最も多く 71.4%で、「自分のこととして考えたことが無い」と回答した人も 16.8%いました。

ヒートショックという言葉をご存知ですか。
(SA、N=2500)

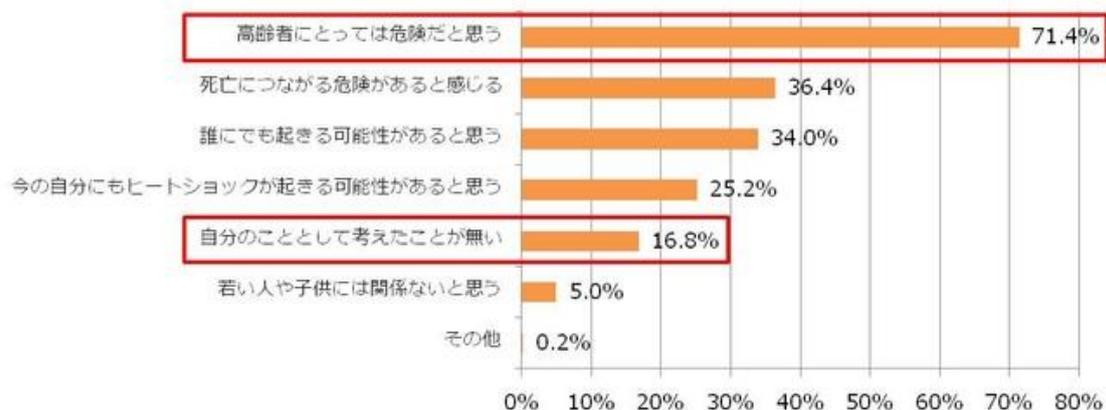


ご自宅において「ヒートショック」について意識することがありますか。(SA、N=2500)

※「ヒートショック」の意味を説明した後に質問。



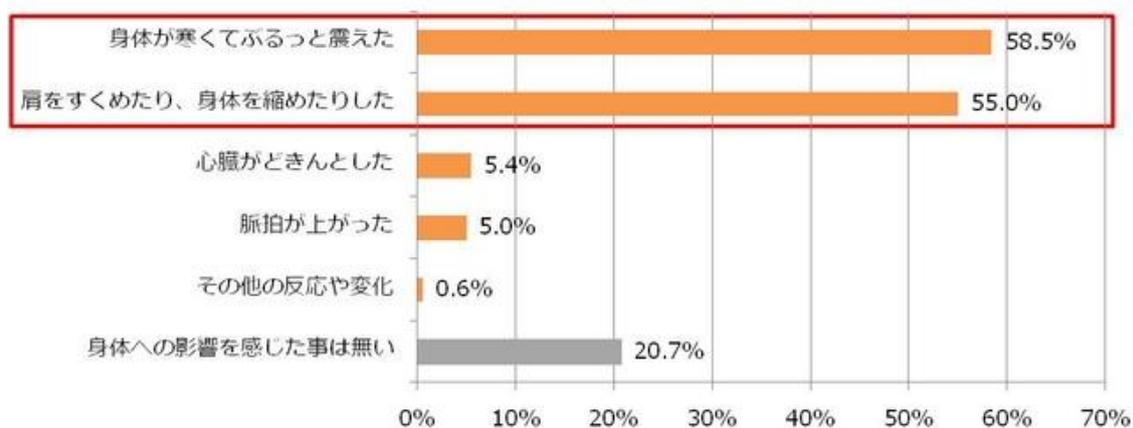
ヒートショックについて、どのような印象を持ちますか。(MA、N=2500)



④住宅内で寒暖差のある場所に移動したときに、約8割の人が身体への影響を感じている

住宅内の温度差のある部屋間の移動において、全体の8割近くが暖かい部屋から寒い部屋や空間に移動したときに、なんらかの身体の反応や変化、影響を感じた事があると回答しました。具体的に身体に起きた主な変化は、「身体が寒くてぶるっと震えた」58.5%、「肩をすくめたり、身体を縮めたりした」55.0%など。

あなたは、冬、ご自宅で暖かい部屋から寒い部屋や空間に移動したとき、以下のような身体の反応や変化、影響を感じた事がありますか。(MA、N=2500)



⑤知らないうちに多くの人がヒートショックの原因になる行動をとっている

冬の自宅内の行動について尋ねたところ、「暖房等で暖めるのはリビングなどの居る部屋のみで、その他の場所は暖めない」人が60.5%、「自宅の脱衣室や浴室が寒くても暖房器具を設置していない」人37.8%など、多くの人がヒートショックの原因になり得る行動をとっている一方、それがヒートショックにつながることを知らない人が半数を超える52.1%という結果となりました。